

**令和５年度
福岡市総合図書館の運営に関する評価**

**令和６年１０月
福岡市総合図書館**

福岡市総合図書館新ビジョン推進に関する点検評価会議委員名簿

(五十音順)

	所属等
上村 篤子	福岡市総合図書館運営審議会委員 (社会教育関係)
岡本 洋幸	公益財団法人九州経済調査協会 B I Z C O L I 館長
白川 義人	福岡市総合図書館運営審議会委員 (家庭教育関係)
白根 恵子	福岡市総合図書館運営審議会委員 (学識経験者)
田中 優	福岡市総合図書館運営審議会委員 (本市の住民)

○新ビジョン事業計画一覧表

図 書 館 像	項 目		内 容	内部 評価	外部評価
誰もが楽しめる 魅力ある図書館	図書資料の貸出・ 返却拠点の新設	1	分館の新設	A	A(5)B(0)C(0)D(0)
		2	貸出・返却拠点等の新設	B	A(0)B(5)C(0)D(0)
	利用時間の見直し	3	休館日、開館時間の見直し	B	A(0)B(4)C(1)D(0)
	図書館イベントの充実	4	図書館イベントの充実	A	A(5)B(0)C(0)D(0)
	快適な空間づくり	5	快適な空間づくり	A	A(5)B(0)C(0)D(0)
さまざまな情報を求める 市民に応える図書館	図書館サービスの充実	6	資料収集の充実	B	A(1)B(4)C(0)D(0)
		7	レファレンス(相談)サービスの充実	B	A(0)B(5)C(0)D(0)
		8	課題解決型支援の充実	A	A(4)B(1)C(0)D(0)
	地域読書活動への支援	9	団体貸出先の拡大	B	A(0)B(5)C(0)D(0)
		10	地域読書活動への支援	B	A(1)B(4)C(0)D(0)
	市関連施設の図書室の 相互協力	11	市施設の図書室との相互協力	B	A(0)B(5)C(0)D(0)
子どもと本をつないで 豊かな心を育む図書館	子どもへの読書普及	12	モデル児童図書目録の配布	A	A(5)B(0)C(0)D(0)
		13	子どもの貸出カード作成推進	B	A(1)B(4)C(0)D(0)
		14	ヤングアダルト層(12歳～18歳)への働きかけの強化	A	A(4)B(1)C(0)D(0)
		15	読書活動ボランティア講座の強化	A	A(5)B(0)C(0)D(0)
	学校図書館への支援	16	学校図書館支援センターの充実	A	A(5)B(0)C(0)D(0)
総合図書館の特色を 生かした図書館	映像資料部門の充実	17	図書館外施設での映像資料上映事業	A	A(5)B(0)C(0)D(0)
		18	資料展示事業	A	A(5)B(0)C(0)D(0)
	文書資料部門の充実	19	文書資料のデジタルデータ化・情報提供の充実	A	A(5)B(0)C(0)D(0)
		20	文学館の利用拡大	B	A(1)B(4)C(0)D(0)
効率的で効果的な 図書館運営	図書館運営の強化	21	運営方法の検討	A	A(5)B(0)C(0)D(0)
		22	図書館ボランティアとの共働の推進	B	A(0)B(5)C(0)D(0)
		23	職員の育成及び技術向上	B	A(1)B(4)C(0)D(0)
		24	施設の有効活用などによる財源確保	B	A(3)B(2)C(0)D(0)
	情報発信の推進	25	情報発信の推進	A	A(5)B(0)C(0)D(0)

<評価の基準>

福岡市総合図書館新ビジョン事業計画の取組状況については、下記の基準により評価を行っている。

判 定	評 価 内 容
A	計画どおり取り組み、内容も十分である。
B	ほぼ計画どおり取り組んでいるが、少し不十分な点がある。
C	計画どおりには取り組んでおらず、不十分である。
D	取り組んでいない。

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(総括)

福岡市総合図書館新ビジョン基本理念
市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館
利用者の高度化・多様化するニーズに対応できる資料・情報を提供する生涯学習施設として、また、内部空間だけでなく外部空間も含めて、快適な空間を最大限に活用することにより、これまで図書館を利用したことのない人なども集う場を創出し、多くの市民がくつろぎ、楽しさを共有できる新たな情報・交流の拠点となる図書館を目指します。

成 果 指 標					
成 果 指 標	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末
図書館利用者における 図書館サービスの満足度 【令和7年度:90%】 ＜総合図書館開館日＞	—	85.4% (-)	89.7% (+4.3)	89.9% (+0.2)	90.5% (+0.6)
	271日	246日	221日	288日	291日
※図書館サービスに関する調査3項目の満足度のうち、最も低い値を成果とした					
※()は前年度からの増減					
※令和元年度は利用者アンケート調査を実施せず。					

目 標 数 値					
目 標 数 値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
①入館者数 【令和7年度:3,500千人】	2,627,641人	1,640,847人 [-986,794] [-37.6%]	1,543,636人 [-97,211] [-5.9%]	2,215,702人 [672,066] [43.5%]	2,384,703人 [169,001] [7.7%]
②個人貸出冊数 【令和7年度:4,800千冊】	3,958,372冊 [-150,601] [-3.7%]	3,251,539冊 [-706,833] [-17.9%]	3,108,085冊 [-143,454] [-4.4%]	3,923,418冊 [815,333] [26.2%]	3,884,860冊 [-38,558] [-1.0%]
③貸出利用者数 【令和7年度:1,400千人】	1,178,884人 [-35,518] [-2.9%]	949,860人 [-229,024] [-19.4%]	897,574人 [-52,286] [-5.5%]	1,156,751人 [259,177] [28.9%]	1,169,152人 [12,401] [1.1%]
④新規登録者数 【令和7年度: 30千人】	22,528人 [-2,184] [-8.8%]	16,558人 [-5,970] [-26.5%]	18,648人 [2,090] [12.6%]	21,363人 [2,715] [14.6%]	23,831人 [2,468] [11.6%]
※[]は前年度からの増減。					
※コロナ関連の臨時休館	総合図書館のみ	令和2年2月27日から同年3月20日まで			
	総合図書館及び分館	令和2年4月4日から同年5月25日まで			
	総合図書館及び分館	令和3年5月12日から同年6月20日まで			
※工事に伴う長期休館	南図書館	令和3年1月5日から令和4年8月26日まで			
	博多南図書館	令和6年2月29日から令和6年10月末まで			

内 部 評 価	事業別評価	
〈評価〉 成果指標である「図書館サービスの満足度」は90.5%となっており、目標の90%を超えることができた。また、新型コロナウイルス感染症の5類移行後はイベント等の取組みも増加し、入館者数、貸出利用者数、新規登録者数は前年度と比較し増加した。しかしながら、コロナ禍以前の令和元年度の利用状況にまでは戻っていない。 事業別評価については、イベントの実施等、昨年度と比較して推進できた事業が多かったため、昨年度と比べてプラス評価となっている。 〈対応〉 令和7年度まで継続することとなった福岡市総合図書館新ビジョンの推進及び目標達成に向けて、計画的に事業を実施するとともに、図書館サービスの向上を図るための取組みを推進していきながら、次期の基本的運営方針の策定にむけた検討を進めていく。	A評価	13事業
	B評価	12事業
	C評価	—
	D評価	—

外 部 評 価

・内部評価に対して、違和感はなかった。気になる点は、2年や3年連続でB評価になっている取組みである。図書館職員の皆さんが一生懸命に取り組んで、数年連続でB評価であるならば、その項目は評価基準のハードルが高い、或いは、職員の努力では達成できない要因があるのだろう。評価軸を変更するといった工夫が必要と考える。

・図書館にはだれもが世話になったことがあり、とても親近感のある存在である。そうした存在感をいかして、取組みを進めてはどうか。例えば、返却拠点増設にむけて、民間事業者と相談する取組みが期待される。図書館の持つ集客力や知的イメージは、民間企業にとって魅力である。

・目標数値は、前年度の比較となっている。経年比も重要な数値ではあるが、貸出冊数など、市民一人あたりの数値を出したらどうかであろうか。因みに、神戸市は市民一人あたり約3.9冊、北九州市は約3.4冊、福岡市は約2.4冊(大変大まかな数値だが)程度。他市と比較しつつ目標値を決めるのもありでは。

・登録者数も実数だけでなく、登録率(市民全体の何パーセントが)も目標数値が設定しやすいのでは。

・新型コロナウイルス感染症の5類移行後、イベント開催の充実などに取り組まれ、入館者数、貸出利用者数は回復してきている。一方、貸出冊数は昨年度より減少しており、予算を確保し、市民のニーズにあった魅力的な資料の確保や館内のレイアウトの変更が求められる。

・現計画は4つの図書館像にフォーカスした上で策定されており、4つのテーマ実現に向けた25の業務項目については概ね計画通りの業務進捗であったと評価する。ただユーザー満足度は90%超とはいえ、入館数がコロナ以前に届かない状況の中では、コアファンのみに満足頂いている現状であるという見方も可能かもしれない。その点では「ファン層全体の拡大」が引き続き最大のテーマだと考える。それを進める上では、現状事業のブラッシュアップだけではなく、新しい切り口の業務による拡大が必要と考えるが、そこには「交流の拠点」がますます重要な鍵となってくると思う。今後この点の更なる着手に期待する。

・成果指標である「図書館サービスの満足度」は90.5%と、目標の90%を超える成果を出している。コロナ禍以前の令和元年度の利用状況にまでは戻っていないとはいえ、さまざまなイベント等の取組みを積極的に進めており、入館者数、貸出利用者数、新規登録者数が前年度と比較し増加という結果を出している。概ね計画どおり取り組み、内容ともに十分な活動を行なっている。

事 業 別 評 価

委員①		委員②		委員③		委員④		委員⑤	
A評価	16	A評価	14	A評価	13	A評価	14	A評価	14
B評価	9	B評価	11	B評価	12	B評価	10	B評価	11
C評価	0	C評価	0	C評価	0	C評価	1	C評価	0
D評価	0	D評価	0	D評価	0	D評価	0	D評価	0

<評価の基準>

福岡市総合図書館新ビジョン事業計画の取組状況については、下記の基準により評価を行っている。

判 定	評 価 内 容
A	計画どおり取り組み、内容も十分である。
B	ほぼ計画どおり取り組んでいるが、少し不十分な点がある。
C	計画どおりには取り組んでおらず、不十分である。
D	取り組んでいない。

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調査(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項 目	図書資料の貸出・返却拠点の新設			
内 容	分館の新設					
事業計画	早良南地域交流センターの 2021 年 11 月の開館に合わせて分館開館準備に取り組みます。					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)	
令和 5 年 度						
計画	円滑な分館運営を行うことで、利用者満足度の高い図書館運営を目指す。 新たな市民センター等の建替改修等がある場合は、魅力のある分館づくりに努める。					
取組状況	早良南図書館については、指定管理者による地域交流センターとの連携や地域への図書館利用促進等に積極的に取り組むなど、地域に密着した管理運営を行っており、利用者アンケート調査では、窓口サービス(あいさつ、接遇など)や総合評価について満足度が100%と評価が高く、高い目標値の入館者数と個人貸出利用者数は達成はならなかったものの、個人登録者数や個人貸出冊数は目標値を超えるなど、円滑な分館運営を行っている。(個人登録者数:目標値4,000人→実績5,706人、個人貸出冊数:目標値350,000冊→実績358,021冊) 令和5年9月議会において、博多、中央、城南、早良、西の各市民センターについては、施設の劣化度合いや施設を取り巻く状況などを踏まえ、中央から1館ずつ順次改修していくこととされた。12月議会で中央市民センターの大規模改修について基本的な計画が示され、改修に向けて関係局との協議を行った。 また、令和6年2月議会において、「南区における拠点施設の基本的考え方」が報告され、西南部地域に「地域交流センター」を新たに整備し、「図書館」「ホール・会議室等」などの機能配置について、具体的な検討を進めることとされており、議会報告にあたってはそれぞれの関係局と報告内容の調整を行った。					
令和 6 年 度						
計画	新たに整備が検討されている南区地域交流センター(仮称)の基本構想の策定に併せて、設置が想定される分館の運営方針やコンセプト等の検討を行う。 また、令和7年度中頃に予定されている中央市民センターの大規模改修に併せて、中央図書館の書架配置の見直しなど、より良い分館づくりに取り組む。					
内 部 評 価 (令和5年度)						
早良南図書館は開館してから2年以上経ち、運営が安定しているとともに、利用者の満足度も高く、着実に実績を上げている。 関係局と調整しながら、新たな分館や中央図書館の改修に向けた検討が開始されたことから、A評価とする。					A	
外 部 評 価 (令和5年度)						
・利用者アンケートでは総合評価における満足度が100%になっており、円滑な運営ができていることがうかがえる。 ・市民センターや地域交流センターの改修や新設に際して、図書館のスペースを少しでも拡張できないだろうか。 ・早良南図書館、南図書館、共に、改築会館後の運営順調に推移し、アンケートの満足度も高いことは評価できる。懸念されていた老朽化した分館も中央を皮切りに順次改修に向けて進んでいる点は高評価である。さらに整備検討中の南区地域交流センター(仮称)に新たな分館が設置されることが想定されるとのこと、今後の進展に期待するとともに利用者のニーズや安全面にも配慮した計画を望む。 ・計画通りかつ十分な内容と考える。					A : 5 B : 0 C : 0 D : 0	

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館		項 目	図書資料の貸出・返却拠点の新設	
内 容	貸出・返却拠点等の新設				
事業計画	利用者の利便性の向上を考慮し、交通の便の良い公共施設等における図書の貸出・返却拠点の設置を推進します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	検討、協議				
			◇設置		
令和5年度					
計画	引き続き、既設の貸出・返却拠点等の維持に努めるとともに、市の施設、民間施設への具体的な拠点設置に向けて、関係部署、関連民間企業等との協議を進める。				
取組状況	令和5年2月に、返却拠点の1つであった西新駅構内のハートフルショップmomoが閉店したことに伴い、同施設での図書返却サービスが終了したが、令和5年8月に、西新駅お客様サービスセンター内に返却ポストを新たに設置した。 貸出・返却拠点の設置について、貸出拠点が目標15地点に対し、現在14地点、返却拠点が目標27地点に対し、現在26地点のため、関係部署、関連民間企業等と新たな拠点になりうる場所の協議・検討を継続した。				
令和6年度					
計画	既設の貸出・返却拠点等の維持に努めるとともに、市の施設、民間施設への具体的な拠点設置に向けて、関係部署、関連民間企業等との実現に向けた協議を進める。				
内 部 評 価 (令和5年度)					
廃止になった地下鉄西新駅構内の図書返却拠点の代替として、関係部署との調整と返却ポストの準備に一定の時間を要したが、同駅構内に返却ポストを設置することができた。新たな拠点の設置については協議を進めたが、具体化には至らなかったことから、B評価とする。					B
外 部 評 価 (令和5年度)					
・貸出・返却拠点共に、目標まであと1拠点まで迫っている。気になる点は、返却拠点は27拠点と、福岡市の人口規模では少ないと感じられる。民間の商業施設などは、来店客増加に向けて、返却拠点設置を希望するのではないだろうか。 ・貸出返却の拠点の新設は長年の課題である。福岡市の人口に対して、拠点数が少ないのではと考える。また、貸出の拠点については増える気配がなく、利便性のよい公民館と連携するなどの対策の検討が望まれる。 ・取り組みはされているもののやや不十分と考える。そもそも返却拠点の数値目標27が適正なものか、個人的には少なく感じるので、もう少し接点拡大にむけた活動を期待したい。					A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調査(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項 目	利用時間の見直し		
内 容	休館日、開館時間の見直し				
事業計画	図書館分館ごとの市民ニーズ等に基づき、休館日と開館時間の見直しを検討します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	【休館日】				
	検討	段階的に実施			
	【開館時間】				
検討	段階的に実施				
令和5年度					
計画	引き続き、利用者アンケートの結果、東図書館、早良南図書館での実施状況、成果を検証し、継続的に検討を行う。				
取組状況	東図書館と早良南図書館は他の分館よりも休館日を少なく、開館時間を長くしており、利用者アンケートでは満足度は高い。 2館での図書館別時間帯別入館者を分析すると、令和5年度の全時間帯に占める割合は、東図書館では19時台6.4%、19時台3.7%、早良南図書館では18時台5.0%、19時台2.8%であり、他の時間帯と比較すると大幅に少ない。また、夜間の入館者数は、日の長い春夏には多く、日が短い秋冬は少なく、また比較的金土曜日が多く、火水木曜日が少ない傾向が見られた。 令和6年度の市民を対象としたアンケートの実施に向けて、他都市の実施状況を確認するなど検討を行った。				
令和6年度					
計画	無作為抽出された多数の市民を対象とした「市政に関する意識調査」のテーマの一つとして、図書館に係る幅広い意見を問い、利用していない、利用が少ない層の利用促進に向けた分析を行う。				
内 部 評 価 (令和5年度)					
4年度に実施した市政アンケートは全市での調整を要し数年に一度しか実施は難しく、普段利用していない市民の意見を聞くことはできなかった。利用状況等の分析を行うとともに、6年度のアンケート実施に向け検討を行った。以上のことから、B評価とする。				B	
外 部 評 価 (令和5年度)					
・開館・閉館時間については館一律ではなく、曜日や季節、立地場所によって変更してはどうだろうか。持続的な運営を考えると、開館・閉館時間は柔軟に考えるべきである。 ・立地条件、利用者層等を勘案して、一律でなく柔軟に決めても良いのではないか。 ・開館時間の長い分館は利用者の満足度も高い。週に1日でも時間を延長する日を設けるなど、他の分館や本館の対策が必要と考える。 ・計画通りの取り組みはみられなかったと考える。図書館の利用者はその立地や環境、設備等によって違うものではないかと思うので、全体の調査にこだわらず、トライアル会場をいくつか決めてニーズの掌握と対応策の実施等を具体的に進める等、全体の動きができないのなら違った活動ができたのではないかと考える。				A : 0 B : 4 C : 1 D : 0	

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調査(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項 目	図書館イベントの充実			
内 容	図書館イベントの充実					
事業計画	子ども向けのおはなし会や体験講座、大人向けの講座など、幅広い層に向けて多様なイベントを実施し、これまで図書館を利用していなかった層への訴求や、参加者の満足度の向上を目指し、引き続き、読書の普及や図書館の活用促進を図ります。 また、市の関連部署と連携したイベント、総合図書館の映像資料部門や文書資料部門、各分館との連携による企画を実施していきます。					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)	
令和5年度						
計画	新型コロナウイルス感染症の状況や対策に十分に配慮しながらも、総合図書館及び分館において、共通テーマで選んだ各館の蔵書を10月に一斉展示する「図書館マンス」をはじめ、「絵本月間」、「こどもの読書週間」、「読書週間」などを中心に読書普及につながるイベントを企画・実施する。また、大人やヤングアダルトを対象とした読書イベントを企画・実施する。					
取組状況	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、概ね予定していたイベントの開催ができた。「図書館マンス」の「カラフル図書館」をはじめ、「こどもの読書週間」でのイベント、おはなし会の開催、SDGs関連本展示や起業・経営相談会、がん情報講演会など課題解決型支援を行った。 コロナを契機に開始した、こども図書館講座のYouTubeでの動画配信では、新たに1本を作成し、楽しく図書館利用を学べるようにした。 12月の絵本月間では、各館において、さまざまな「おはなし会」、絵本づくり、工作、絵本展示などを行い、読書行事には合計2,148名の参加があった。 その他、中学生・高校生を対象としたSDGsに関するワークショップでは、社会的課題を題材に、グローバルな活動を行っている大学生とともに解決策を検討した。高等学校ビブリオバトル福岡県大会では16校が参加して「読みたくなる本」の知的書評合戦が行われ、会場が熱気に包まれた。 ・読書行事等イベント 総合図書館、分館 1,041回 19,136人(R4 778回、14,268人) ・展示 総合図書館 138回 (R4 130回)					
令和6年度						
計画	総合図書館及び分館において、共通テーマで選んだ各館の蔵書を毎年10月に一斉展示する「図書館マンス」をはじめ、「絵本月間」、「読書週間」などを中心に読書普及につながるイベントを企画・実施する。また、大人やヤングアダルトを対象とした読書イベントを企画・実施する。					
内 部 評 価 (令和5年度)						
新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、おはなし会を始めとしたイベントの開催回数、参加者とも大幅に前年度を上回る結果となり、読書活動の促進に取り組むことができたことから、A評価とする。						A
外 部 評 価 (令和5年度)						
・多様なテーマで取り組まれている。さらにYoutube配信など、担当者の熱意がうかがわれる。 ・今後も幅広い層へのアプローチとなるイベントの企画、実施を期待している。 ・イベント実施が充実してきている事を評価する。簡単でいいので来場者の状況や感想・評価がアンケートで取れて次回への改善に活かされるよう是非検討してほしい。						A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館		項 目	快適な空間づくり	
内 容	快適な空間づくり				
事業計画	やすらぎや交流の場といった、初めての来館者も過ごしやすい環境の創出など、大幅な館内レイアウトの変更について、施設設備の大規模更新による休館(6カ月程度)にあわせて行うこととし、長期保全計画に基づく設備更新を計画的に推進します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
令和5年度					
計画	引き続き、計画的に設備更新工事を行う。 令和6年度に実施する、休館を伴う全館空調設備更新工事に向けた実施設計を行い、休館が必要な範囲・期間、工事期間中の運営体制等について検討を行う。				
取組状況	長期保全計画に基づき、レストランホール空調設備更新工事を行うとともに、令和6年度の全館空調設備更新工事の実施設計を行った。課題であったビデオライブラリーコーナーの活用とこども図書館の閲覧スペースの拡充など館内レイアウト変更の検討を行い、関係部署との協議により6年度に改修を行う予算の確保ができた。				
令和6年度					
計画	全館空調設備更新工事及び駐車場整備工事を図書館運営への影響を最低限に抑えながら実施する。 また、こども図書館及びビデオライブラリーのレイアウト変更を実施する。				
内 部 評 価 (令和5年度)					
全館空調設備更新工事の実施設計において、工事範囲や、施工方法を工夫することで、図書館運営への影響を最低限に抑える工事計画を策定することができた。 また、総合図書館において、竣工から35年頃を目途に行われる大規模改修前の、館内レイアウト変更の実現に向けて一定の筋道を立てることができたため、A評価とする。					A
外 部 評 価 (令和5年度)					
・計画通りに進んでいる。内容も十分である。 ・はじめて来館した人にも過ごしやすい大幅なレイアウトの変更があるとのこと、期待を込めてA評価とした。 ・計画通りかつ十分な内容と考える。総合図書館のレイアウト変更に大いに期待する。					A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像		さまざまな情報を求める市民に応える図書館		項 目	図書館サービスの充実
内 容		資料収集の充実			
事業計画	公共図書館としての役割を発揮するため、前期で見直した図書資料の収集方針に沿って資料収集を行い、市民ニーズに応えるよう努めます。 また、電子書籍の取り扱いについて、業界や他都市の動向を踏まえて、検討を継続していきます。 さらに、収集した資料を幅広く活用できる方策を検討していきます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	資料収集方針に沿った資料収集				
令和5年度					
計画	市民ニーズを測りながら、総合図書館及び分館の収集方針に沿って幅広く資料収集を行う。 また、電子図書館の選書も本館・分館で分担して行い、バラエティに富んだコンテンツの充実に努める。				
取組状況	公共図書館として市民の教育、学術、文化の発展に寄与するため、総合図書館及び分館の収集方針に沿って幅広く資料収集を行うとともに、市民ニーズと蔵書のバランスを図りながら、リクエストへの対応や予約待ち人数が多い図書の複本購入等を実施した。 電子図書館については、特集テーマを担当する館の読書相談員が工夫しながら選書を行い、幅広い市民ニーズに応えるコンテンツの収集を行った。 ・コンテンツ数：令和5年度末 11,737点（令和4年度末 10,852点）				
令和6年度					
計画	総合図書館及び分館の収集方針に沿って、市民ニーズを捉えながら幅広く資料収集を行っていく。 電子図書館については、読み放題の児童向けコンテンツの期間限定導入など、利用者ニーズを踏まえたコンテンツの充実に努める。				

内 部 評 価（令和5年度）

限られた予算の中で総合図書館及び分館の資料収集に努め、予約待ち人数が多く市民ニーズが高い図書の複本購入等も実施した。また、電子図書館については幅広い市民ニーズに応えるべく選書を行い、コンテンツ数を増やした。しかしながら、十分な予算の確保が難しく、選書は工夫しているものの、資料収集の充実には不足している面があることからB評価とする。	B
--	---

外 部 評 価（令和5年度）

・限られた予算の中で十分に対応されている。 ・電子書籍への要望は高いかもしれないが、契約期間のみの利用で図書館資料にはならないタイプも多い。予算の配分は熟慮してもらいたい。 ・限られた予算のなかで創意工夫されていることは評価できるが、予算の確保が求められる。 ・予算あつての「資料収集の充実」なので予算の増額に期待するしかないが、図書館サービスの充実という上位テーマを考えると、予算が無いならば、現在所蔵の資料の再スポット・再発見等の企画を充実させるなどぜひ進めてほしい。また、予算に応じた資料獲得の数値目標は持っておいて達成度を図る事も重要なのではと思う。	A : 1 B : 4 C : 0 D : 0
--	----------------------------------

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像		さまざまな情報を求める市民に応える図書館		項 目	図書館サービスの充実
内 容		レファレンス(相談)サービスの充実			
事業計画	窓口、電話、文書、電子メールによるレファレンスを実施するとともに、レファレンス情報のホームページでの提供を進めます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	レファレンスサービスの実施				
令和5年度					
計画	HPにおけるレファレンス事例の周知を図るとともに、窓口、電話、文書、電子メールによるレファレンスの利用促進をより一層図っていく。				
取組状況	窓口、電話、電子メール、文書によるレファレンスを実施し、総合図書館や分館において、情報を求める利用者に対し調査の手伝い行った。 ・総合図書館 主題別部門及び文書資料部門のレファレンス件数 24,798件(R4 25,491件)				
	利用者が来館しなくてもサービスが利用できるよう、当館のHP上で国立国会図書館のレファレンス協同データベースを活用し、当館取り扱い事例117件の紹介に加え、より幅広いレファレンス事例について参照可能としている。 また、蔵書検索システム「OPAC」内の「テーマ資料」では、随時情報を更新しており、特集展示関連の図書や中高生向けのお薦めの図書などを紹介した。				
令和6年度					
計画	窓口、電話、電子メール、文書によるレファレンスの利用促進を図るとともに、HPへのレファレンス事例の掲載について周知を行っていく。				

内 部 評 価 (令和5年度)	
レファレンス件数は減少したものの、様々な手法での問い合わせに対応しており、また、国のデータベース上で積極的に当館のレファレンス事例を紹介していることから、B評価とする。	B

外 部 評 価 (令和5年度)	
・レファレンスは、ネットの登場により、利用者からの質問内容が高度化する傾向がある。レファレンス担当者の研修を充実させてはどうか。 ・図書館のレファレンスサービスを知らない市民が多い。周知する方策を考える必要がある。レファレンスの事例を関連分野の書架に掲示しても良いのでは ・レファレンスが身近になるような周知が望まれる。また、公共図書館のレファレンスの質の高さ(事実確認などのフィルターがある)をアピールすることも必要ではないかと思う。 ・レファレンスサービスはまだまだ認知度が低いのではないかと思う。サービスの導線をもっと検討し充実させる工夫が必要だと考える。	A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館		項 目	図書館サービスの充実	
内 容	課題解決型支援の充実				
事業計画	ビジネスや医療、子育て支援などの課題解決に対して、関係部局及び国・県等と連携を図りながら、図書館資料を活用した展示や講演会、相談会等を行います。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	医療・ビジネス・子育て支援等の情報提供				
令和5年度					
計画	医療、ビジネス、行政、国などの課題解決支援として、市の関係部局・機関および外部の機関等と連携して展示を行うなど、図書館資料を活用した情報提供や関連事業を実施する。				
取組状況	ビジネス支援として、創業に関するセミナーを開催したほか、定期的に中小企業診断士による起業・経営相談会を開催し、前年度より相談件数が増加した。 医療支援として、総合図書館、分館で九州がんセンターや済生会福岡総合病院から医師等を講師として招き、講演会を実施した。健康関連の企画展示を行うとともに、蔵書検索システム「OPAC」内の「テーマ資料」でがん情報に関する本を紹介している。 また、児童虐待防止、選挙、認知症、相続と遺言、税などをテーマとして、市の関係部署や福岡法務局、福岡国税局と連携して、ロビーなどでのパネル掲示や、図書の展示を行った。加えて、国連寄託図書館の独自企画としてSDGsに関する展示を行った。 令和3年3月から開始した電子図書館では、課題解決にも繋がるよう、多様な切り口からの特集で本の紹介を積極的に行っている。 ・起業・経営相談会 本館71回 相談30件、分館 60回 相談22件 ・創業セミナー 分館4回 参加 65人 ・医療に関する講演会 本館1回 参加21人、分館3回 参加79人				
令和6年度					
計画	効果的に、行政情報、医療関連情報などの提供やビジネス支援を行うため、関係機関と連携し課題解決支援の充実を図る。				
内 部 評 価 (令和5年度)					
起業・経営相談会の開催回数と相談件数が増加し、がん講演会を医療機関と協力して実施、行政支援においては関係機関と連携して図書展示などに取り組んだ。 また、電子図書館を活用して課題解決に資する書籍を紹介するなど、積極的に取り組んだことからA評価とする。					A
外 部 評 価 (令和5年度)					
・展示やイベント開催などに、積極的に取り組まれている。 ・子育て支援に関して、出産前に両親を対象にした”プレブックスタート”的は講座を実施できないか ・昨年度もあげているが、事業計画には「医療・ビジネス、子育て支援等の情報提供」とうたわれているが、報告には子育て支援への取り組みがひとつもないため、B評価とした。 ・計画通りかつ十分な内容と考える。実施されたセミナー等(特に評判の良かったもの)は、収録してネット配信できるような事もできれば、参加できなかった人も情報が得られるのではないか。					A : 4 B : 1 C : 0 D : 0

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像		さまざまな情報を求める市民に応える図書館		項 目	地域読書活動への支援
内 容		団体貸出先の拡大			
事業計画	地域の読書活動の拠点である地域文庫や学校、高齢者福祉施設等への団体貸出を実施し、団体貸出サービスの充実を図ります。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	団体貸出先の拡大				
令和5年度					
計画	令和5年度は460団体の登録を目標に、地域での貸出機会の拡大を目指し、公民館の登録数の増加に向けた取り組みを一層進める。				
取組状況	読書活動ボランティア講座等の催事機会や公民館に団体貸出制度の案内を行うなどの取り組みを行い、団体貸出の登録団体は令和5年度末時点で470団体となり、令和4年度に比較して16団体増加した。このうち、公民館の登録は78館で3館増加し登録率53%、放課後児童クラブの登録は132か所で2か所増加し登録率94%となっている。 なお、登録団体に対し、新着本の紹介等を行い、貸出図書の利用の促進に努めた。				
令和6年度					
計画	配本件数の増加に対応できるよう効率的な配本を行い、未登録の公民館や放課後児童クラブ及び地域文庫、高齢者施設等への団体貸出先の拡大を図るとともに、市民局と連携して公民館へのサービス周知を図る。				

内 部 評 価 (令和5年度)

令和5年度目標の460団体登録を達成できたが、公民館は3館増で登録率は53%に留まったため、B評価とする。	B
---	---

外 部 評 価 (令和5年度)

・おおむね計画通りにできている。公民館との連携が難しい状況であれば、別の対応策を考えてはどうか。 ・団体登録数が増えていることは評価できるが、公民館の登録が伸び悩みなことの改善策を模索する必要がある。 ・公民館との連携は、これ以上進めるのには何かしらのネックがあり限界もあるのではないかと思いますので、活動の充実を主に進める事が重要と思う。	A : 0 B : 5 C : 0 D : 0
--	----------------------------------

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館		項 目	地域読書活動への支援	
内 容	地域読書活動への支援				
事業計画	地域において読書活動を行っている団体の活動状況を調査してニーズを把握するとともに、公民館や留守家庭子ども会等を訪問して、活動や環境整備への助言や支援等を行います。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
令和5年度					
計画	地域における読書ボランティアの活動の支援及び公民館における子どもの読書活動の推進に重点的に取り組むため、スタンバード文庫の地域住民への周知や公民館の運営を支援する部署と連携した公民館の団体貸出登録の促進に努める。				
取組状況	希望する公民館に講師を派遣し、スタンバード文庫を活用した親子対象の読み聞かせ講座を実施することで、スタンバード文庫の周知を図った。 ・読み聞かせ講座 24館、484人参加 (R4 24館、347人参加) 地域文庫の活動拠点や活動状況等を紹介した「地域文庫マップ」や、定期情報紙「子どもと本の日通信」・「学校図書館支援センターだより」を配布するとともに、公民館の運営を支援する部署と連携し、団体貸出における公民館の登録数を令和4年度と比較し3団体増やし78団体とした。				
令和6年度					
計画	地域文庫及びボランティア希望者と、公民館等をつなぐ取り組みとしての地域文庫マップの配布を行うなど、ボランティアの活動を支援するとともに、各公民館と連携し、スタンバード文庫の一層の活用を図る。				
内 部 評 価 (令和5年度)					
スタンバード文庫読み聞かせ講座を活用したスタンバード文庫の周知に努め、講座参加者は4割増加した。文庫間交流の支援を進めるとともに、公民館の団体登録勧奨に努めたが、公民館の登録率は53%に留まったため、B評価とする。					B
外 部 評 価 (令和5年度)					
・おおむね計画通りにできている。公民館との連携が難しい状況であれば、別の対応策を考えてはどうか。 ・分館と公民館が連携した取り組みは考えられないか ・乳幼児とその保護者向けのスタンバード文庫読み聞かせ講座の開催は重要である。さらに、上の年齢の子どもたちに本を手渡すための取り組みが、公民館や各区の分館でなされると、本に親しむ子どもが増えてくると考える。 ・公民館の登録には限界があるようなので、読み聞かせ講座の充実等成果が上がっていると評価する。					A : 1 B : 4 C : 0 D : 0

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像		さまざまな情報を求める市民に応える図書館		項 目	市関連施設の図書室の相互協力	
内 容		市関連施設の図書室の相互協力				
事業計画	引き続き、議会図書室、科学館及びふくふくプラザとの相互協力を実施するとともに、今後とも市関連施設との連携について検討していきます。					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)	
	相互協力の実施					
令和5年度						
計画	引き続き、議会図書室、科学館及びふくふくプラザ各図書室との相互協力を継続するとともに、議員や職員、市民への周知を図る。					
取組状況	市議会議員及び行政職員の調査研究支援のため、議会図書室を通じて図書資料の貸し出しを実施したが、利用は58件に留まった。 福岡市科学館のサイエンスナビ(図書室)において、図書資料の貸出・返却の実施を継続するとともに、HPでの図書貸出・返却サービスの利用日の周知の改善を図った。 ・科学館での予約貸出冊数 51,913冊(R4 48,823冊) ふくふくプラザでは、相互の図書資料の返却の実施を継続した。 各施設においては、相互に利用周知を図った。					
令和6年度						
計画	議会図書室や福岡市科学館、ふくふくプラザ各図書室との相互協力を行い、利用者サービスの向上を図る。					

内 部 評 価 (令和5年度)	
それぞれの市関連施設との相互協力での連携が継続実施できており、周知も行っているが、利用実績が十分とは言えないため、B評価とする。	B

外 部 評 価 (令和5年度)	
・B評価が続いている。利用が進まない理由を明確にしつつ、対策を打つべき。 ・これまで相互協力を行ってきた施設との連携を継続できていることは評価できるが、周知が十分とは言えない。また、他の施設への広がりが見られないのは残念である。 ・取り組みがされていると思う。すべての面で成果を出すことは難しいと思うので、科学館での実績等をもっと上げられればと思う。	A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像		子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館		項 目	子どもへの読書普及
内 容		モデル児童図書リストの配布			
事業計画	子どもたちやその保護者等が子どもの本を選ぶ目安として、各年齢層に応じた本を紹介したリストを配布し、子どもの読書推進に寄与します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	作成・配布				
令和5年度					
計画	令和5年度版のモデル児童図書リストを作成し、関係機関(保育園、小学校、公民館等)へ配付するとともに、「司書が選ぶ100冊の絵本」に掲載されている図書と併せて、こども図書館での常設展示や12月の絵本月間期間中の集中広報などを行い貸出を促進する。				
取組状況	モデル児童図書リストに掲載した図書の企画展示を行うとともに、モデル児童図書リスト(前年の受入図書の中から選定した本)を配付(約2,800部)し、カウンターでのレファレンスのツールとしても有効に活用した。 また、令和3年度作成の「司書が選ぶ100冊の絵本」及び従来のモデル児童図書目録(S62年～H27年作成)に掲載された図書を常設で展示し、貸出を行った。 〔参考〕令和4年度モデル児童図書リスト掲載図書の、年間1冊当たりの貸出回数の平均 ・幼児用133回 ・小学1・2年用100回 ・小学3・4年用62回 ・小学5・6年用28回				
令和6年度					
計画	令和6年度版のモデル児童図書リストを作成し、関係機関(保育園、小学校、公民館等)へ配付するとともに、「司書が選ぶ100冊の絵本」に掲載されている図書と併せて、こども図書館での常設展示や1階本の森での企画展示、12月の絵本月間期間中の各館での広報などを行い貸出を促進する。 また、保護者(予定含む)等を対象に、司書が選んだ本などを基に、本の読み聞かせや本の選び方など、すぐに実践できる体験的な講座を実施し、子どもの読書活動推進の取り組みを推進する。				

内 部 評 価 (令和5年度)

モデル児童図書リストの配付、モデル児童図書の展示や企画展示、紹介等を計画通り行い、掲載図書の貸出を促進することができたことから、A評価とする。	A
---	---

外 部 評 価 (令和5年度)

・計画通りに進んでおり、内容も十分である。 ・モデル児童図書リストの選定、配布は高評価である。予算を確保し、子どもたちが手にとりやすいよう、本館、各分館ともに蔵書を確保してほしい。 ・計画通りに実行されていると思う。大変良い資料だと思うので、保護者等へのダイレクトな発信をぜひ検討してほしい。	A : 5 B : 0 C : 0 D : 0
---	---

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像		子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館		項 目	子どもへの読書普及
内 容		子どもの貸出カード作成推進			
事業計画	図書館の貸出カードを所有していない児童を対象として、貸出カードの作成を推進することにより、読書の普及等を図ります。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	検討、協議	実施			
	令和5年度				
計画	図書館催事や講座、団体貸出、学校訪問等の機会を捉え、図書館の貸出カードの作成を促す声かけに努める。特に、小学生読書リーダー養成講座は「福岡TSUNAGARU Cloud」を活用した各小学校での実施により受講者数の増加が期待でき、その際に併せて貸出カードの作成案内を行う。				
取組状況	小学生の図書館見学や、各小学校に実施を依頼している動画等の資料による「福岡TSUNAGARU Cloud」を活用した、小学生読書リーダー養成講座(42校634名が参加)等において、貸出カードの作成案内を行った。また、学校図書館支援センターによる学校図書館訪問時に、図書館の利用案内とともに貸出カードの作成案内を行った。 ・令和5年度個人登録者数 児童・生徒 62,011人(R4 59,977人)				
令和6年度					
計画	図書館催事や講座、団体貸出、学校訪問等の機会を捉え、図書館の貸出カードの作成を促す声かけに努める。特に、各館で来館増が期待される小学生の図書館見学や、各小学校に動画での実施を依頼する小学生読書リーダー養成講座において貸出カードの作成勧奨を行う。				

内 部 評 価 (令和5年度)

小学生の図書館見学や小学生読書リーダー養成講座の小学校での実施などの機会を捉えて、貸出カードの作成案内に努めたことからB評価とする。	B
--	---

外 部 評 価 (令和5年度)

・計画通りできており、取組み内容も十分である。 ・図書館見学や小学生読書リーダー養成講座で貸し出しカード作成に努めている事は評価できる。B評価とされたのであれば、他にどのような機会を考えているのか。 ・長年の課題となってきた。分館と協力し、親子で楽しめるワークショップを開催するなど、一歩進んだ対策、工夫が必要と思う。 ・概ね計画通りと考える。貸出カード作成には様々なハードルもあると思うが、継続的な取り組みを期待する。	A : 1 B : 4 C : 0 D : 0
--	---

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館		項 目	子どもへの読書普及	
内 容	ヤングアダルト層(12歳～18歳)への働きかけの強化				
事業計画	広報やイベントを充実させるとともに、中高生に訴求する資料収集を進めます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	広報・イベント・資料収集の充実				
令和5年度					
計画	ヤングアダルト向けに電子図書館等を活用して図書の紹介を行うとともに、ヤングアダルト層を対象とするイベントを実施し、図書館の利用促進につなげる。				
取組状況	電子図書館を活用し、ヤングアダルト向けの特集を組みコンテンツを提供するとともに、HPのテーマ資料においてもヤングアダルトのカテゴリで図書を紹介した。また、ヤングアダルト向けの図書の収集や、お薦め本のリストの配付など従来の方法も並行して行った。 高等学校ビブリオバトル福岡県大会には昨年度より2校多い16校が参加し、お薦め本の知的書評合戦を繰り広げ、会場が熱気に包まれた。 さらに、中学生・高校生を対象としたSDGsに関するワークショップでは、社会的課題を題材に、グローバルな活動を行っている大学生とともに解決策を検討した。				
令和6年度					
計画	ヤングアダルト層を対象とするイベントの実施や、電子図書館やHPを活用してヤングアダルト向けの図書を紹介することで、図書館の利用促進につなげて行く。				

内 部 評 価 (令和5年度)	
電子図書館でヤングアダルト向けの特集を組んだ他、折々で電子図書及び図書の収集を進め、さらに多様な方法でヤングアダルト向けの図書利用促進に取り組んでいるため、A評価とする。	A

外 部 評 価 (令和5年度)	
・図書の紹介だけでなく、ビブリオバトルの開催など積極的に取り組まれている。 ・ヤングアダルト層の利用は増えたのか。ヤングアダルトと協力して講座をや講演会を企画するのも良いのでは。小学生読書リーダー養成講座受講者などを対象に協力者を募ってみてはどうか。 ・電子図書館やHPの活用しての取り組みはヤングアダルト層が利用しやすい点は評価できる。イベントに関しては、どうしても読書好きの一部の中高生向けとなるため、広くアピールできる、さらなる取り組みも必要と考える。 ・いろいろな活動に取り組まれていると思うが、実施した事が本当にユーザーにフィットしているかどうか、重要なポイントだと考える。ヤングアダルト発の企画実施等、ユーザー主体の企画等を少しずつでも実行する事で、見えてくることも多いと思う。	A : 4 B : 1 C : 0 D : 0

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像		子どもと本をつないで豊かな心を育む 図書館		項 目	子どもへの読書普及
内 容		読書活動ボランティア講座の強化			
事業計画	読書活動ボランティア講座を開催し、学校や地域等幅広いボランティアを養成して、地域の読書活動の推進に寄与します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	読み聞かせ講座の実施				
	ストーリーテリング講座・おさらい会の実施				
	令和5年度				
計画	令和5年5月～6月に絵本の読み聞かせコース、9月～11月にストーリーテリングコース、2月にスキルアップコース(新設)を実施する。 講座受講修了者には、地域文庫MAPを配布し、地域活動への参加につなげる。				
取組状況	令和5年5月～6月に絵本の読み聞かせコース(定員40名、受講者40名)、9月～11月にストーリーテリングコース(定員40名、受講者33名)、2月にスキルアップコース(定員40名、受講者15名)を実施した。講座受講者には、福岡市内で活動している文庫団体の活動拠点及び活動状況を掲載した地域文庫MAPを配布し情報提供を行った。				
令和6年度					
計画	令和6年5月～6月に、絵本の読み聞かせコース(定員60名)を実施する。 講座受講修了者には、地域文庫MAPを配布し、地域活動への参加につなげる。				

内 部 評 価 (令和5年度)	
講座の各コース「絵本の読み聞かせコース、ストーリーテリングコース、スキルアップコース」を計画どおり実施し、講座受講修了者には、地域文庫MAPを配布することで、地域での活動に繋がるよう支援を行っていることから、A評価とする。	A

外 部 評 価 (令和5年度)	
・計画通りに進んでおり、内容も十分である。 ・絵本の読み聞かせコース、ストーリーテリングコース、スキルアップコース、充実の内容で高評価である。継続してほしい。 ・計画通りかつ十分な成果と考える。	A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む 図書館	項 目	学校図書館への支援			
内 容	学校図書館支援センターの充実					
事業計画	前期での成果を踏まえ、総合図書館内に設置した学校図書館支援センターにおいて、市立小・中・特別支援学校の学校図書館への人的・物的支援を行い、学校司書の活動をサポートします。 ・学校図書館への運営等に関する指導、助言 ・学校図書館の図書への選書や助言 ・学習支援用図書の貸出、学校司書への支援					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)	
	公共図書館司書の専門性を生かした学校図書館への支援					
	学習支援図書の貸出					
	学校図書館の活用・運営に係る情報収集と提供					
令和5年度						
計画	学校現場の意向、要望に沿った支援及び定期的な支援をすすめると共に、学校司書未配置校の支援、新任司書への研修支援、新設校の計画段階からの助言、読書に困難がある児童・生徒のための資料の貸出を進めるなど事業の充実を図る。					
取組状況	令和5年度は95回の学校訪問を実施するとともに、88件のメール等相談に対応した。小学生用の学習支援用図書貸出については、59校から151回の利用があり5,256冊の貸出を行った。中学生用の学習支援用図書貸出については、3校から6回の利用があり、89冊の貸出を行った。また、令和6年4月新設校の初期購入図書の選書及び図書館内レイアウトの作成等を行った。 学校司書の新規採用者研修及び全体研修会に講師として参加し、講義及び支援内容の説明等を行った。 市内小学校5・6年生を対象に「小学生読書リーダー」に認定する「小学生読書リーダー養成講座」について、学校と連携し「福岡TSUNAGARU Cloud」により動画等の資料を配信し、42校で実施があり、受講者634名全員を認定した。 特別支援学校については、おはなし会やブックトークの実演、選書や配架の工夫など、具体的な支援を行った。また、特別支援学校高等部の卒業生を対象に図書館利用案内を作成し配付した。 マルチメディアDAISYは、点字絵本やLLブック等も含め「たつちるつくセット」として小学校1校に貸出を行った。					
令和6年度						
計画	学校現場の意向、要望に沿った支援及び定期的な支援をすすめると共に、学校司書未配置校の支援、新任司書への研修支援、令和7年4月予定の新設校の計画段階からの助言、読書に困難がある児童・生徒のための資料の貸出を進めるなど事業の充実を図る。					
内 部 評 価 (令和5年度)						
小中学校への支援は、学校訪問及びメール等の相談により、学校司書及び学校図書館関係者に具体的な支援を実施するとともに、訪問や研修会等の機会を活かして、学習支援用図書の貸出利用の促進に努めた。特別支援学校向け支援についても、特に令和5年4月開設校の状況に配慮しながら、各校の状況に応じた支援に努めたことから、A評価とする。						A
外 部 評 価 (令和5年度)						
・計画通りに進んでおり、内容も十分である。 ・支援センターの活動は大変良いと思う。各校に学校司書が配属されれば、もっともっと学校図書館が活性化すると思う。 ・学校図書館への支援はよくなされており、評価できる。学校司書の配置が不十分(5校にひとり程度)なことが、支援の効果を限定的にしており、改善が望まれる。 ・計画通りかつ十分な成果と考える。						A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館		項 目	映像資料部門の充実	
内 容	図書館外施設での映像資料上映事業				
事業計画	収集した映像資料についてさまざまな手法を用いて市民等に提供することで、効果的な図書館の映画保存事業のアピールを行います。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	手法検討	上映事業の実施			
令和5年度					
計画	これまで希望がなかった博多区、城南区も含め全ての区の公民館29館で上映会を開催する。 上映会に活用する作品を2作品程度選定し、ブルーレイディスク制作を行い、上映可能作品を増やしていく。				
取組状況	年度当初までに申し込みがあっていた29館の公民館と、上映会の実施に向けた打合せ等を行い、計画的に事業を実施した。また、追加での申し込みもあり、令和5年度は、34館で、のべ35回の上映会を開催し、のべ715人の市民の参加があった。 また、アジア映画のブルーレイディスクを2作品制作し、上映会に活用できる作品を12作品とするなど、事業の充実に努めた。				
令和6年度					
計画	令和6年2月に行った希望調査に基づき作成した実施計画に基づき、公民館23館で上映会を開催する。 上映会に活用する作品を2作品程度選定し、著作権者と交渉のうえ、ブルーレイディスク制作を行い、上映可能作品を増やしていく。				
内 部 評 価 (令和5年度)					
広報を継続し年度途中の申し込みも積極的に受け入れた結果、当初計画より5館増、令和4年度の2倍の34館の公民館で上映会を開催することができ、より多くの市民にアジア映画に触れる機会を提供することができた。 著作権者との交渉を進めるとともに、映像事業に関する助成金などの活用を図り、新たに2作品ブルーレイディスクを制作し、上映可能作品のラインナップを増やすことができた。 観覧者のアンケートでは、65歳以上の方が多数で、総合図書館のシネラは行ったことがないと回答された方が遠方の公民館では特に多く、身近な公民館で見れてよかったという意見もあり、シネラの利用が難しい方々に楽しんでいただけたことが伺える。 以上のことからA評価とする。					A
外 部 評 価 (令和5年度)					
・上映会は、結果的に地域の高齢者のコミュニティの場になっていると推測できる。素晴らしい取り組みである。 ・大変良い取り組みだと思う。 ・上映会の開催が増加し、上映可能作品も増え、計画通りに進んでいる。 ・計画通りかつ十分な成果と考える。					A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項 目	映像資料部門の充実	
内 容	資料展示事業			
事業計画	展示事業をシネラの広報に限定せず、アジア映画のポスター展を中心に多様な展示を計画し、映像文化の普及・振興、市民サービスの促進を行います。場所はビデオライブラリーを使った展示空間の新設を検討します。			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	令和5年度 (令和7年度迄継続)			
	多様な資料の展示			
	展示エリアの検討 展示エリアの整備			
令和5年度				
計画	上映企画に合わせたショーケース展示として、「安住の地を求めて」(4月)、「映画の中の食卓」(5月)のポスター展示を実施する。また、シネラエントランスでの上映企画に合わせたポスター展示を毎月実施していく。 新たな展示エリアの検討に関して、設備改修との調整を進めていく。			
取組状況	ショーケース展示については、「安住の地を求めて」(4月)、「映画の中の食卓」(5月)のポスター展示を実施するとともに、シネラエントランスでの上映企画に合わせたポスター展示を毎月実施した。 新たな展示エリアについては、設備改修との調整協議を行い、令和6年度の改修予算を確保した。			
令和6年度				
計画	ショーケース展示については、西側ショーケースを概ね年間を通して使用し、毎月の上映企画に合わせた展示を行っていく。 新たな展示エリアについては、地域の映像資料や映像以外のポスターなど紙資料を含めた展示ができるよう、ビデオライブラリーコーナーのレイアウト変更を行い、展示コーナーを新設する。			
内 部 評 価 (令和5年度)				
上映企画に合わせたショーケース展示については、予定どおり展示ができた。また、シネラエントランスでの上映企画に合わせたポスター展示も毎月実施し、上映作品のPRができた。 展示空間の新設については、予算確保ができ、6年度新設に向けて目途がたった。 以上のことから、A評価とする。				A
外 部 評 価 (令和5年度)				
・計画通りに進んでおり、内容も十分である。 ・展示空間の新設に向けて予算確保は評価できる。今後に期待している。 ・計画通りかつ十分な成果と考える。				A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像		総合図書館の特色を生かした図書館		項 目	文書資料部門の充実
内 容		文書資料のデジタルデータ化・情報提供の充実			
事業計画	文書資料(歴史的公文書・行政資料・古文書資料・郷土資料)のデジタルデータ化・活用を進めるとともに、文学情報提供システムを拡張することにより、文書資料の情報提供システムを構築し、文書資料への理解と利用の促進を図ります。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	デジタルデータ化・活用の推進				
	デジタルデータの作成・蓄積, ホームページ掲載・展示・市民提供等				
	文書資料情報提供システムの構築(文学情報提供システムの拡張)				
	検討	システムの拡張・情報提供			
令和5年度					
計画	広報紙「古文書だより」第3号の刊行を行うとともに、ホームページ「コレクション紹介」及び古文書資料収蔵品データベースの更なる充実を図る。 世界水泳選手権2023福岡大会に合わせて、福岡のプールに関する歴史的公文書等の展示を実施する。				
取組状況	古文書資料に関する情報発信を目的とした「古文書だより」第3号を刊行し、配布、ホームページ掲載を行った。ホームページの「コレクション紹介」に2点の古文書資料を掲載した。 周船寺公民館での「宮崎安貞翁生誕400年顕彰祭」にあわせて、当館寄託資料の「宮崎家伝来農業全書」(福岡県指定文化財)のパネル展示を行った。 「古文書資料収蔵品データベース」に、新たに整理・保存が終了した資料1,589点の目録データを追加掲載した。 1階ショーケースを活用して、世界水泳福岡大会の関連イベントとして、「図書館資料で見る福岡のプール展」を実施し、歴史的公文書等の展示を行った。また、「博覧会と共にあゆむ福岡～変わりゆく福岡をふりかえる～」展を実施し、古文書資料、郷土資料、行政資料、歴史的公文書の展示を行った。				
令和6年度					
計画	「古文書だより」の刊行、ホームページ「コレクション紹介」及び古文書資料収蔵品データベースの更なる充実を図る。 行政資料(写真フィルム)のデジタル化を進め、将来の公開に向けた準備を行う。				
内 部 評 価 (令和5年度)					
古文書資料については、計画どおり内容の充実に取り組んだほか、公民館と連携して展示を実施することができた。 歴史的公文書等については、関心が高い世界水泳開催に合わせて展示を行ったほか、完結後30年を経過したアジア太平洋博覧会(よかトピア)の資料を含め、福岡市で開催された博覧会に関する資料で構成した展示を行い、当館所蔵の文書資料を紹介することができた。 以上のことから、A評価とする。					A
外 部 評 価 (令和5年度)					
・計画通りに進んでおり、内容も十分である。 ・「古文書だより」刊行は評価できる。予算を確保し、資料のデジタルデータ化、市民への提供へのあり方の検討を進めてほしい。 ・計画通りかつ十分な内容と考える。確かに古文書のデータ化は大いに価値のある事だと改めて感じた。					A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館		項 目	文書資料部門の充実	
内 容	文学館の利用拡大				
事業計画	市民に認知され、利用しやすい文学館となるよう、事業の充実及び情報提供の強化による利用拡大を図ります。また、インターネットによる福岡ゆかりの文学情報提供システムを新たに構築します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	総合図書館HP等での情報提供の充実				
	企画展、常設展、文学講座等の情報提供の充実				
	企画展の開催、広報強化				
	企画展開催・報道機関等による広報強化				
	福岡ゆかりの文学情報提供システムの構築				
	構築	情報提供			
令和5年度					
計画	福岡市文学館企画展については、これからの企画内容や実施方法などを含め、福岡市文学振興事業実行委員会に意見を諮りながら進めていく。 常設展示として、(上半期)「風よ—作品・書簡からみた伊藤野枝(仮)」、(下半期)「成層圏の時代—竹下しづの女と龍骨(仮)」および関連講座を実施する。 また、コロナ禍で停滞していた大学等外部機関、組織との連携事業を充実させ、文学館の認知度アップを図る。				
取組状況	福岡市文学振興事業実行委員会に諮り、今回2か年で1つの企画展に取り組むこととし、企画展の6年度開催に向け、準備作業を行った。 常設展示として、4年度から継続で「映画化された小説」を、また新たに「風よ—作品・書簡からみた伊藤野枝」を実施し、関連でトークイベント「知る・伊藤野枝」を開催、同名の記録集を発行した。 定例文学講座に加え、九州大学との地域連携事業として高校生を対象とした文学講座を開催した。このほか、国文学研究資料館との共同事業として、上野英信自筆資料・原稿のデジタル公開準備に取り組んだ。 一方で、年度途中で照明の不具合が発覚し一定期間展示施設が使用できなかったことから、下半期の常設展については年度内開催を見合わせることにした。				
令和6年度					
計画	企画展として、福岡市文学振興事業実行委員会に諮りながら5年度から準備を進めてきた展示を行う。 国文学研究資料館との共同による「上野英信自筆資料・原稿」のデジタル公開に併せ、当館収蔵の上野英信資料収蔵品展示を行う。また常設展示、関連講座、定例文学講座を開催する。				
内 部 評 価 (令和5年度)					
伊藤野枝関連の常設展示(観覧者のべ5,287名)及びトークイベント(聴講者78名)は、没後100年という開催のタイミングが良く複数の報道で取り上げられ、人気も高く、加えて新しい客層を呼び込めた。また新たに外部機関(国文学研究資料館及び九州大学)と各々の連携事業に取り組んだ。 一方で、展示施設を使用できない期間が半年にわたって生じ、想定していた展示事業については当初の計画どおりには取り組むことができなかった。上記のことから、B評価とする。					B
外 部 評 価 (令和5年度)					
・概ね計画通りに進んでいるため、B評価とする。 ・展示事業が計画通りに取り組めなかったことは残念だが、上野英信自筆資料のデジタル化等大変良い取り組みであった。 ・いつもよい企画だが、一部の文学好きな市民向けの感がある。若い世代を引き付けるような展示も企画してほしい。 ・想定外の事を除けば計画通りの取り組みと考える。					A : 1 B : 4 C : 0 D : 0

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営		項 目	図書館運営の強化	
内 容	運営方法の検討				
事業計画	現在指定管理制度を導入している総合図書館および東図書館の成果を検証し、図書館の運営方法を検討します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	総合(建物管理のみ)、東(運営)				
	早良南(仮称)				
令和5年度					
計画	指定管理者への定期的なモニタリングを引き続き実施し、必要に応じて協議するなど、満足度の高い、適切な運営に反映するよう努める。				
取組状況	各施設の指定管理者に対し、引き続き定期的なモニタリングを実施し、適切な運営に反映するよう努めた。また、指定管理者の提案による様々な事業やイベントでもアンケート等による満足度を調査した。指定管理者による企画や取り組みが利用者にどのように評価されているか、利用者からの声などがどのように反映されているかの検証も行った。				
令和6年度					
計画	指定管理者への定期的なモニタリングを引き続き実施し、必要に応じて協議するなど、満足度の高い、適切な運営に反映するよう努める。				
内 部 評 価 (令和5年度)					
各指定管理者の事業報告やモニタリング等を基に検証したところ、総合図書館、東図書館、早良南図書館の各々の指定管理者が、一定の管理運営経験と実績を有していることもあり、安定的な管理運営で、利用者満足度も高く、適正な運営ができた。 また、各指定管理者において、利用者からの声にも真摯に耳を傾け、可能な限り対応し、利用者の満足度を向上させるための取組が行われていることから、A評価とする。					A
外 部 評 価 (令和5年度)					
・安定的な管理運営で、利用者満足度も高く、適正な運営ができているためA評価とする。 ・引き続き、定期的な調査や見直しを行い、慎重にとり組んでほしい。 ・計画通り業務が実行され、ユーザー満足度も高く十分な成果と考える。					A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項 目	図書館運営の強化	
内 容	図書館ボランティアとの共働の推進			
事業計画	図書館サービスの充実と市民活動の場の提供を図るため図書館ボランティアとの共働を推進します。			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	令和5年度 (令和7年度迄継続)			
	活動内容の追加・実施			
令和5年度				
計画	ボランティア活動機会の増加を図るため、活動範囲の拡大について検討する。			
取組状況	通常募集開始を行う時期には感染状況の見通しが不明であり、令和5年度の新規ボランティア募集を行わなかったため、令和5年4月1日時点の登録者数は49名(前年度登録者数63名)。 登録者数減に伴い活動実績の総時間数は減少したが、1人当たりの活動時間数は伸びた。 ・活動実績 1,982時間、40時間/人 (R4 2,208時間、35時間/人) 活動内容は「図書資料の修復」が1,655時間(83%)で最多、次いで「郷土・特別資料室に関する作業」が134時間(7%)となっている。 また、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、令和6年度の新規ボランティア募集を行い、新たに43名を受け入れることとした。 この他、図書館でボランティア活動を希望する方々の活動機会、範囲を拡げるため、総合図書館指定管理者にも環境美化活動等によるボランティア募集と受入れを提案し、活動が行われた。			
令和6年度				
計画	ボランティア活動機会の増加を図るため、活動範囲の拡大について検討する。			
内 部 評 価 (令和5年度)				
コロナ禍により新規ボランティア募集を抑制している中で、登録者1人当たりの活動時間数は伸びたが、コロナ前の活動時間数(令和元年度2,542時間)まで復調していない。 しかしながら、コロナ5類移行に対応し、新年度に向けた新規募集を再開し、指定管理者と連携し活動範囲の拡大についても取り組むことができたため、B評価とする。				B
外 部 評 価 (令和5年度)				
・計画通り実施できている。 ・佐賀市立図書館では、園芸ボランティア(?)が花壇作りを行っています。市民の特技や趣味を活かせる活動を考えると良いのでは。 ・図書館ボランティア活動範囲の拡大については、他の図書館の取り組みを調査し、慎重に行ってほしい。 ・着実な取り組みされていると考える。ボランティア業務を交流の一環と捉えている事を新鮮に感じた。				A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項 目	図書館運営の強化		
内 容	職員の育成及び技術向上				
事業計画	利用者が心地よいと感じる図書館となるよう、図書館職員の接遇研修等を強化します。また、図書館職員として専門知識や技術の向上を目指し、各種研修を実施し、研修成果の情報共有を図ることで、図書館サービスの向上と充実を図ります。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	研修等の強化(分館での研修の充実)				
令和5年度					
計画	全体研修については、福岡市職員、図書館職員としての基本となる研修のほか、防災研修など年間を通して計画的に実施していく。 専門研修については、令和5年度も会場集合形式で開催されるもの、オンラインによるもの、併用によるものなど多様な開催形式が想定されるため、有効に活用して積極的に参加し、各分館を含めた職員の専門知識習得に努める。				
取組状況	全体研修については、公務員倫理研修、ユニバーサルサービス(人権)研修、業務改善研修等、やさしい日本語の研修、避難訓練等の防災研修などを実施。 専門研修については、全国図書館大会、図書館基礎講座、地区別研修会などへの派遣及び県立図書館のレファレンス、資料整理保存、児童図書館専門講座などのテーマ別研修の受講、オンラインによる講習会参加などを奨励し専門知識の習得に努めた。 ・主な研修への参加状況 全国図書館大会(岩手大会:盛岡市)2名、地区別研修(九州・沖縄地区:熊本市中央区)5名、レファレンス研修(県立図書館)2名				
令和6年度					
計画	全体研修については、引き続き福岡市職員、図書館職員としての基本となる研修のほか、防災研修など年間を通して計画的に実施していく。 専門研修については、集合研修、オンライン研修、併用の研修を有効に活用して積極的に参加し、各分館を含めた職員の専門知識習得に努める。 また10月からの図書館システムの更新に当たり、円滑なサービス提供ができるよう、更新後のシステムの基本操作に加え、新しいサービス提供(AI探索等)に係る研修を、各分館や連携図書室も含めた職員を対象に実施する。				
内 部 評 価 (令和5年度)					
予定した研修を計画どおりに行い、時代に合わせたユニバーサルサービス(人権)研修、業務改善研修等の研修を実施することができた。 また、参加可能な範囲で専門研修への派遣を行ったことから、B評価とする。					B
外 部 評 価 (令和5年度)					
・今後は、利用者のデジタルリテラシー向上に伴い、図書館職員においてもIT力を高める必要がある。 ・国や図書館協会主催の長期研修にも、1年に一人でも良いので参加させてほしい。 ・図書館の専門職として従事するには、ある程度の経験年数が必要と考える。図書館運営の核となるような職員の育成を望む。 ・計画通りかつ十分な内容と考える。研修のメニューについては何がベストなのか、常に検討をしてリニューアルしてもらえればと思う。					A : 1 B : 4 C : 0 D : 0

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調査(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項 目	図書館運営の強化			
内 容	施設の有効活用などによる財源確保					
事業計画	駐車場収入による財源確保に努めるとともに、寄付金収入等の増額方法について検討します。 また、デジタルサイネージや施設広告、施設の目的外利用等について、新たな収入確保を検討します。					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)	
	駐車場収入による財源確保					
	新たな他財源の検討	その他財源の確保				
	令和5年度					
計画	駐車場の適切な運営や寄付金制度のPRに努めていくとともに、その他財源確保における手法等について検討する。					
取組状況	駐車場の運営について、駐車場用地の土地貸付収入等により、約580万円の歳入があった。 また、他都市等へも積極的なPRを行い、映画フィルム貸与料で約85万円の歳入があった。 ふくおか応援寄付による図書館への寄付金については、SNSや様々な機会を活用し広報に努め、約900万円寄せられた。 ホームページ上でのバナー広告主の募集については、従来の市全体の所管課を通した募集に替えて、図書館独自に募集要項を策定し、1か月、1枠単位でのバナー広告掲載を可能にするなど掲載要件を緩和し財源確保に取り組んだが、問合せはあったものの契約にまでは至らなかった。					
令和6年度						
計画	駐車場の適切な運営や寄付金制度のPRに努めていくとともに、引き続き財源確保における手法等について検討する。					
内 部 評 価 (令和5年度)						
駐車場運営では前年比で約156%の収入増、ふくおか応援寄付金は前年比で約2倍の寄付金額収入増となり、一定の成果が出てきていると判断される。 また、ホームページ上でのバナー広告主の募集については、掲載要件や募集方法の見直しに取り組んだことなどから、B評価とする。						B
外 部 評 価 (令和5年度)						
・収入を得ようとする姿は素晴らしい。継続した取組みに期待する。 ・バナー広告主の募集は予定通りでなかったにしても、その他は大変良い取組状況なので、A評価で良いのではないかな。 ・「施設の有効活用などによる財源確保」としては、A評価である。文化政策としての図書館の予算の増額が求められるが、その見通しがたたないのであれば、さらなる工夫、一手が必要と思われる。 ・計画通りに実行されていると思う。いろいろ限界もあると思うが、企画の視点をブラッシュアップすれば、まだまだ実行する余地があるのではないかと感じる。						A : 3 B : 2 C : 0 D : 0

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項 目	情報発信の推進	
内 容	情報発信の推進			
事業計画	引き続き、インターネット等を活用した情報発信に努めるとともに、新聞やミニコミ誌などのメディアへの働きかけを進めます。			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				令和5年度 (令和7年度迄継続)
	検討	実施		
令和5年度				
計画	効率的で効果的な広報を目指し、ホームページおよびSNSの運用方法の見直しを含めた改善策を探りながら、情報発信を行う。また、市の文化施設を中心に、展示やイベントの連携を積極的に行い、情報の共有や拡散を行う。			
取組状況	他施設と情報交換を行って連携展示を推進し、他施設との相互リポストなどから情報発信・拡散を行ったことで、SNSのインプレッション(表示回数)が増加した。 図書館の開館情報やイベント情報等も、ホームページやSNSを通して発信した。また、パブリシティによる情報発信も行った(報道機関への資料提供数3件に対し報道又は掲載件数41件)。X(旧ツイッター)は前年度よりも投稿回数を伸ばし649回、インプレッションは前年度190%の1,165,178回。フェイスブックは今年度から映像部門による情報発信専用となり、投稿回数は156回と減少したが、インプレッションは前年とほぼ変わらず、18,681回となっている。媒体ごとの登録者数は、X(旧ツイッター)2,771人、フェイスブック481人、メルマガ634人と増加した。(昨年度ツイッター2,319人、フェイスブック426人、メルマガ589人)。			
令和6年度				
計画	効率的で効果的な広報を目指し、ホームページおよびSNSの運用方法の見直しを含めた改善策を探りながら、情報発信を行う。また、市の文化施設を中心に、展示やイベントの連携を今後も積極的に行い、情報の共有や拡散を行う。			
内 部 評 価 (令和5年度)				
報道機関などへの資料提供は減少(6件→3件)したが、他施設と情報交換を行って連携展示を推進し、他施設との相互リポストなどから情報発信・拡散を行い、インプレッション数も大幅に増加、SNSでの登録者も着実に増えてきていることからA評価とする。				A
外 部 評 価 (令和5年度)				
・積極的に取り組まれている。その頑張り(数値:インプレッション数)を図書館要覧やHPに掲載してはどうか。 ・ホームページやSNSの運用は随時見直しや改善をしながら運用されていることは評価に値する。また、各媒体の登録者なども適度に増加しており、健全に運用されていることが伺われる。 ・計画通りかつ十分な内容と考える。発信型のネットツールは成果を上げていると思うので、次のテーマとして双方向のネットイベントの検討をぜひ期待する。				A : 5 B : 0 C : 0 D : 0